

# 「令和3年木材需給表」の公表について ～国産材の供給量は12年連続で増加～

林野庁は9月30日に、我が国の木材需給の状況を明らかにする「令和3年木材需給表」を公表しました。

令和3年（2021年）の木材の総需要量は、8,213万<sup>3</sup>m（丸太換算。以下同じ。）で前年に比べ10.3%増加しました。

国内生産量は3,372万<sup>3</sup>mで前年に比べ8.3%増加し、12年連続の増加となりました。また、輸入量は4,841万<sup>3</sup>mで前年に比べ11.8%増加しました。

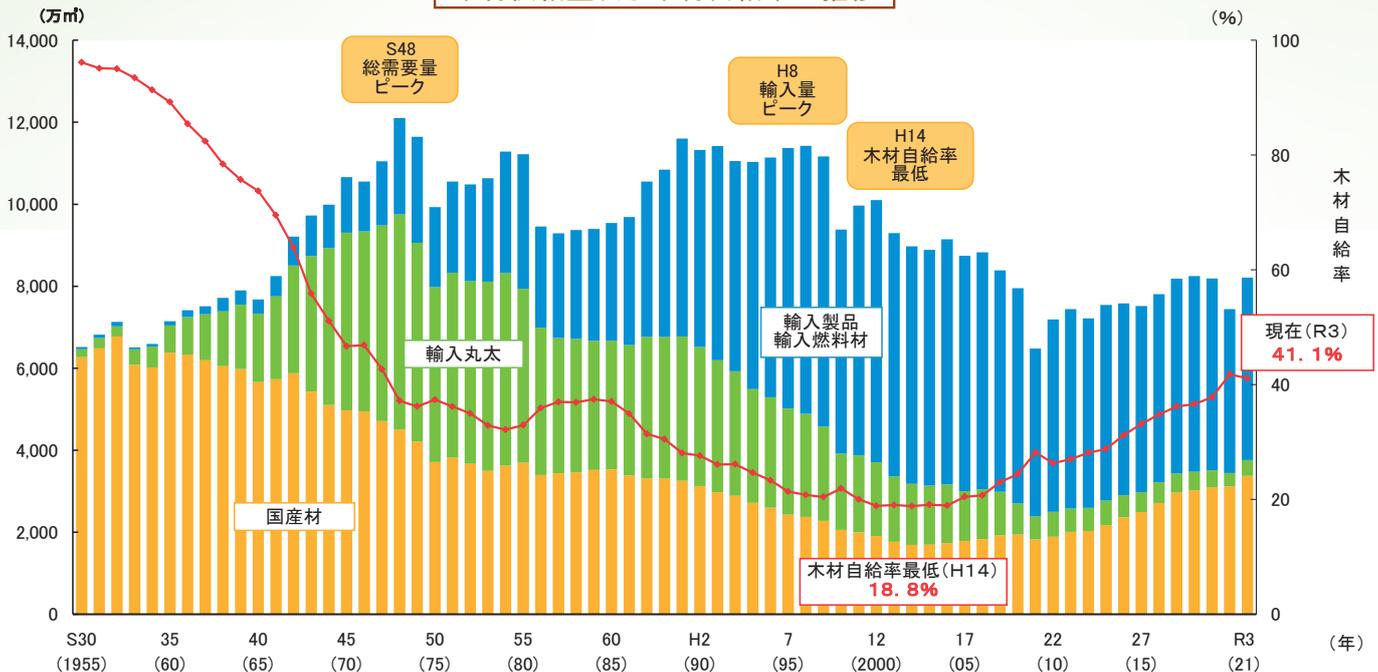
令和3年の建築用材等（製材用材と合板用材の計）の自給率は前年から0.8ポイント上昇して48.0%となり、これにパルプ・チップ用材、その他用材、しいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、前年に比べて0.7ポイント低下し、41.1%となりました。

より詳しい「木材需給表」の内容は下記のURLから御覧いただけます。



[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai\\_zyukyu/index.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai_zyukyu/index.html)

木材供給量及び木材自給率の推移



令和3年 需要(供給)量

用途	供給源	国産材	輸入丸太	輸入製品	合計	比率
製材用材		1,286.1	341.5	990.3	2,617.9	32.0%
合板用材		466.1	43.2	520.1	1,029.4	12.6%
パルプ・チップ用材		474.4	1.7	2,398.3	2,874.3	35.1%
その他用材		186.2	1.5	4.9	192.6	2.4%
燃料材		935.0	0.0	539.4	1,474.4	18.0%
合計		3,347.7	387.9	4,453.0	8,188.6	100.0%
しいたけ原木		24.6			24.6	
総計		3,372.3	387.9	4,453.0	8,213.2	

令和3年 木材需給の構成

